

## IT コンサルティングのプロが選んだ G Suite。より創造的で効率的なワークスタイルを実現！



 Casley Consulting, Inc.

### キャスレーコンサルティング 株式会社

〒150-6031  
東京都渋谷区恵比寿 4-20-3  
恵比寿ガーデンプレイス 31 階  
<http://www.casleyconsulting.co.jp/>

IT コンサルティング、Web システム開発、クラウドインテグレーション、スマートフォン／タブレット開発の各事業を手がける。特にクラウドのテクノロジーを活用し、顧客の経営課題を解決するコンサルテーション／ソリューションを得意とする。その手法として、「CSV」(Creating Shared Value：社会での共有価値の創造) という経営戦略の考え方を取り入れていることが特長的。

IT コンサルティング企業のキャスレーコンサルティング。クライアントの経営課題に対し、クラウドのテクノロジーを活用したソリューションの提案を得意としている。業務上、数々の IT / クラウドのプロダクトを取り扱い、それぞれの長所・短所を熟知している。そんな同社は、2013 年 1 月の創業とともに、グループウェアとして G Suite を導入。より創造的で効率的なワークスタイルを実現させている。

代表取締役社長 砂川和雅 氏

### 課題と効果

#### 課題

1

複数のメンバーが一つのシートを共有し更新する作業を行う場合、従来は一つのシートを回して 1 人ずつ作成するか、同時に作成したシートを集約するなどの作業に膨大な時間がかかっていた



#### 効果

1

Google ドライブならば全員が同時に一つのシートを共有し、各自が更新できる。10 人による作業ならば、所要時間は 10 分の 1 まで削減可能に

#### 課題

2

グループウェアにない機能を使用する場合、アクセス時にそれぞれ別の認証が必要になり、煩雑な業務が強いられる



#### 効果

2

SSO の G Suite ならば、あらゆるアプリケーションがシームレスに連携しており、いちいち認証の必要はなく業務をスピーディーに行える

## 何が問題だったか？

キャスレーコンサルティングを創業する前から、ITを活用する経営コンサルティングに携わっていた砂川氏。同社の創業準備として、社内にどういったグループウェアを導入するかが大きな検討課題となった。

## 創業時にどんなグループウェアを導入すべきか

「それまで在籍していたいくつかの企業で、それぞれ異なるグループウェアを利用していました。また業務柄、それら以外の製品も研究していました。そうした中で、既存のグループウェア製品のメリット・デメリットは比較的できていたと思います」と砂川氏は言う。

## どのように検討・導入したか？

### 33項目で主要7製品を比較検討

砂川氏は、主に次の2つの観点でツールを検討した。

①コンサルティング企業の生命線は、コンサルタントなど社員の知的生産。そのために社員間のコラボレーションがより生まれやすいツールはどれか

②管理が煩雑なグループウェア製品が多い中、管理がより容易なツールはどれか

「メールとスケジュール管理が中心的な機能である既存のグループウェア製品は、それ以外の、例えばファイル共有は社内のファイルサーバーを使うといったことになります。その場合、それぞれ別のアクセス認証が必要になるなど管理が煩雑で、使い勝手が良くありません。業務効率化も目的の一つであるグループウェアが複雑な業務を必要とするのは本末転倒と考えていました」と砂川氏。

そして、価格やカスタマイズの容易さなど33項目で、主要7製品

を比較検討。その結果、G Suiteを選定する。

「圧倒的にほかの製品を凌駕していました。G Suiteは個人的に使い慣れていたせいもあるかもしれませんが、その使い勝手の良さで、自信を持って数多くのお客様に導入を提案してきました」と砂川氏は評価する。

①の観点においては、複数の人が同時にドキュメントやスプレッドシートの作成・更新ができる Google ドライブの機能が挙げられた。

②の観点においては、SSO（シングルサインオン）により、あらゆるアプリケーションがシームレスでスピーディーに連携して活用できる点が挙げられた。

創業当初はコアメンバーの5アカウントからスタートし、2016年1月現在では全社員に140アカウント導入している。

## どんな効果があったか？

### 業務スピードが劇的にアップ

「業務スピードが劇的にアップしました」と開口一番、砂川氏は回答する。ねらいどおり、Google ドライブの同時編集機能による業務効率化が非常に大きな効果を発揮しているという。

「当社は30名の管理職が同時に一つのスプレッドシートを共有しながら経営計画を練り上げる会議を行っています。こうした場合、以前は1つのシートを回して1人ずつ作成するか、同時に作成したシートを集約するなどの作業をしなければならず、膨大な時間がかかっていました。それがGoogleドライブならば一瞬でできてしまいます。これは大きいですね」

また、Googleサイトを使って社内ポータルを作成。必要なアプリケーションにはワンクリックでアクセスできるUI/UXを実現させている。

さらに、Gmailには独自に「いいね！」ボタンを設置し、いい内容をみんなで讃えあう風土づくりを推進している。

「当社はSlerでもあるのでこうした開発も社内ですべてできてしまいますが、G Suiteのスク립トは非常に簡単でカスタマイズも容易です。これも大きなメリットですね。完全にWebブラウザだけで動くので、ほかのWebアプリとの親和性も高いのです。現に当社はコラボレーションツールの『Slack』にもSSO連携させています」

客先に常駐してシステム開発を手がける社員もいるが、そういったリモート社員とミーティングなどが必要になれば、ハングアウトで適宜ミーティングを行っている。

こうした自社の取り組みは、本業のクライアントに対する提案にも活かされている。「お客様に実際の活用例を生々しくお見せできるのは、非常に効果的です（笑）」

また、33項目で7製品を比較検討したチャートは、クライアントにグループウェア製品を提案する際のツールとしても大いに役立っている。「お客様の状況やニーズに応じて適宜アレンジして使っています」（砂川氏）

新卒や中途社員の採用に積極的に取り組んでいる同社。今後、人材育成を重視する方針に基づき、勉強会の様子を動画化してポータルにアップし、いつでも視聴しスキルアップに役立たせる環境をつくる予定だ。

「いつでもどこでも活用できる

G Suiteをインフラとして、より創造的で効率的なワークスタイルを築いていきたいと思っています」と砂川氏は意気込む。



「いいね！」ボタンを設置した Gmail の画面。

## G Suite 今回の導入プロダクト「G Suite」

G Suiteは、クラウド型のオフィススイート。1人30GBまでの大容量メールボックス、スケジュール管理が簡単にできるカレンダー、共同編集が可能な文書作成、円滑なリモートワークを実現するビデオ通話、動画の投稿や共有、チャット、そして強力無比な検索など、G Suiteには、社内情報を共有・管理し、最大限に活用するさまざまな機能がセットされています。費用は、1ユーザーあたり年間6,000円。IT部門の管理者は、サーバー需要の増加、メンテナンス作業、セキュリティ対策などに悩む必要はありません。

お問い合わせはこちらから  
<https://goo.gl/QUu2pL>



G Suiteの詳細については、右記URLもしくはQRコードからアクセスしていただくか、同ページ「お問い合わせ」よりお問い合わせください。  
© Copyright 2016 Google  
Googleは、Google Inc.の商標です。その他すべての社名および製品名は、それぞれ該当する企業の商標である可能性があります。

